

12月市議会 一般質問



市議会議員
鈴木 智

台風19号の検証と大規模水害対策について

鈴木 温暖化により大型台風や大規模水害の被害が拡大するといわれる。台風19号の対応について検証が必要。職員動員等の状況はどうか。

市民生活部長 12日20時にシベル4避難勧告を発令、最終的に1724名が避難した。市職員・教職員には3号体制を敷き371人を動員。

鈴木 市民からは問い合わせもあつた。また、風雨の強い中での発令だったが、判断の根拠はどのようだったか。

部長 12日夜遅くから13日にかけて荒川が氾濫危険水位を超える可能性が高いとの情報があった。深夜では避難時の危険が増すため、早めの20時に避難勧告を発令した。

鈴木 市民からは問い合わせもあつた。また、風雨の強い中での発令だったが、判断の根拠はどのようだったか。



市議会議員
山脇 紀子

認知症予防の観点から高齢難聴者への補聴器購入費補助を

山脇 高齢難聴者に対して、認知症の予防や健康寿命の延伸、医療費の抑制の観点から補聴器購入費補助金制度の創設が必要と考えるがどうか。

健康福祉部長 難聴は認知症リスク要因の一つと挙げられ、補聴器の利用による「コミュニケーション」能力の向上は高齢者の生活の質を高め、健康の維持にも資するものと理解し

ている。新規サービスの実施にあたっては財源の確保と共に、制度実施の方法や効果を引き続き調査研究する。

市長 大事な課題であり、国がきちんと対策をとるべきである。今回の議論で必要性は理解した。そのうえで、自治体としてできることを調査研究していきたい。

山脇 高齢難聴者に対して、認知症の予防や健康寿命の延伸、医療費の抑制の観点から補聴器購入費補助金制度の創設が必要と考えるがどうか。

健康福祉部長 20年4月に定員69名の認可保育園の開設と既設認可保育園の28名の定員拡大を行うとともに、2つの家庭保育室が小規模保育園へ移行することにより135名の定員増となる。今後も必要性を見極めながら認可保育園を中心とした整備を進め、引き続き待機児童ゼロを目指す。

9月定例会市議会報告

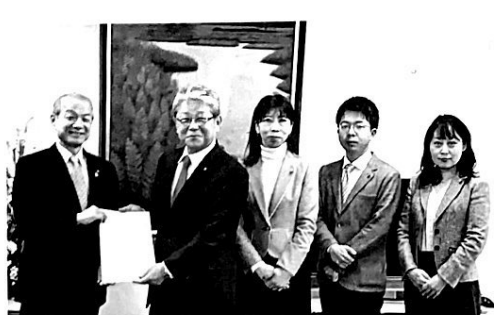
大規模災害への備え、暮らし応援に期待広がる市民の声がらる市政の前進を

12月定例会市議会（11月27日～12月17日）は、市長提案案件9件を可決したほか、議員提出議案3件が可決されました。

台風19号の対応、ひかり幼稚園の無償化への支援など報告

議長初日、頼高市長が行った市長報告の主な内容は以下の通りです。

- ◆台風19号への対応について。台風19号では、市内で床上浸水2件、床下浸水2件などの被害。避難所19か所を開設したほか、藤市では初となる警戒レベル4「避難勧告」を発令するなどの対応をした。
- ◆2019年度の市民意識調査がまとまった。引き続き7割以上の市民がまちに愛着を感じていることが示された。
- ◆国の幼保無償化の対象外とされたひかり幼稚園に地域子育て支援センター事業を委託。保育料の実質無償化につながる措置を講じた。
- ◆市政施行60周年式典を開催。来年2月には「開運」なんでも鑑定団」の公開収録を予定。



頼高市長（左端）に要望書などを手渡す日本共産党市議団（左から鈴木、山脇、武下、宮下の各議員）

2020年度予算要望と災害対策の緊急要望を提出

11月22日、日本共産党藤市議団は「2020年度予算編成に対する要望書」（290項目）を頼高英雄市長に手渡し、「消費税の増税や社会保障の改善等、国政の影響は深刻。引き続き、暮らしを守る立場で頑張っ欲しい」と要望しました。併せて「災害対策に関する緊急要望」も提出。台風19号の教訓から、避難方法の具体化等、さらなる大規模水害対策を求めています。



市立病院の果たす役割について

市議会議員
宮下 奈美

本年9月に厚生労働省から「再編・統合の議論が必要な公立・公的病院」として424の病院が発表され、その中に蕨市立病院の名が入っていた。突然の報道で病院関係者と地域住民は不安になり混乱を招いた。市内で唯一お産ができる病院ということも踏まえ、その役割はどのようなか。病院事務局長 発表について

は突然で憤りを感じている。患者や住民、医療スタッフに不安を与えたことは紛れもない事実で風評被害が懸念される。病院の現在は130床の急性期病床を維持し今後も担っていくが急速な高齢化の進展で南部保健医療圏では2025年以降も医療需要の増加回復期病床の不足が見込まれる。地域医療構想調整会議で

今後の病床機能について検討していく。(本市は)地域連携で近隣病院との役割分担ができており、また、市内で唯一の分娩施設であり「子育てしやすいまちづくり」でも重要な役割を担っている。今後構想会議の動向に注視しながら引き続き市民に愛され親しまれるよう前進していく。

◆本市独自のパートナーシップ制度の制定を
昨年12月「蕨市におけるパートナーシップの公的認証への取り組みに関する陳情」が市議会において全会派一致で採択された。その後、制度導入に向けた協議を開始するための検討状況はどのようなか。

◆日本語が困難な保護者への対応について
翻訳アプリを使うタブレットでの通訳と日本語特別支援教育支援員の増員を要望。

◆ほかに、選択的夫婦別姓について質問。



国民健康保険税の税率見直しは、市民の生活実態を踏まえて

市議会議員
武下 涼

◆国民健康保険税の税率の見直しについて
市民生活部長 蕨市として20年税率を据え置いてきた。一方で、医療の高度化などにより医療費が増加傾向にあること、また(国の)国保制度改革(広域化)のなかで、政策的に行ってきた法定外繰り入れの「解消」を強く求められていること、加えて2021

年度(令和3年度)からの埼玉県国保連立方針策定の議論の中で県内統一の保険税率の議論が出ていること、そして県に提出した「赤字解消計画」を進めなければ、保険者努力支援制度による県からの補助金が削減されることから、今回の見直しに至った。

武下 赤字解消計画に基づく保険税率の引き上げ幅は、圧

縮できるのか。
部長 計画の期間内に達成できるように目標へ向かって対応していくこととなる。

武下 埼玉県国保連立方針に強く縛られることを危惧している。蕨市として、県連立方針の策定にあたって、公的に、対等に意見を言える場があるのか。県に対して意見をあげていただきたいがどうか。

部長 蕨市は入っていないが20市ぐらいで構成するワーキンググループがある。入っていない自治体へは意見照会的なものはあるかと思う。前回の策定の時と同じく、必要に応じて意見を出していく。

市長 国は一般会計からの繰

り入れを赤字としているが、私はそうは思っていない。しかし義務的に提出が求められた「赤字解消計画」において、達成できなければ、保険者努力支援制度による県からの補助金が減らされる仕組みがあること、こうした国・県の状況の中で、税率見直しはやむを得ないと判断し、蕨市国保連立方針に諮問し、議論をいただいている。市民の負担に配慮しつつ、また県内で最も低い税率水準を維持し、いのちや健康を守る原点を踏まえ対応していきたい。

◆ほかに、市職員の働く環境整備、飼いのいない猫への取り組みについて質問・要望。

市政の話題から

幼稚園類似施設無償化へ
支援策が決定

国が幼稚園類似施設を幼児無償化の対象外とした問題で、蕨市の対応が検討されてきました。今議会では、「ひかり幼稚園」に「地域子育て支援センター」事業を委託する補正予算を可決。実質的無償化が実現しました。育児相談や園庭開放など、子育て支援の充実も期待されます。

国民健康保険税の見直し 広域化と医療費増加が影響

国による国保の広域(県単位)化や増加する医療費等の影響により、現在、市では保険税率の見直しが検討されています。党市議団は、市の対応をやむを得ないとする一方、県内で最も低い税率水準を維持すべきと引き続き努力を要望。

お気軽にお声掛けください

日本共産党市議団の市民相談

2月 5日(水) 19日(水)
3月 11日(水) 25日(水)

時間: いずれも午後2時から4時
場所: 市役所4階 日本共産党市議団控室

相談無料 当日の電話は
432-3590



蕨市立病院 市内唯一の分娩可能な医療機関であり、連携を推進する等、地域医療の中核を担っています。

また、国の責任は重大であり、公費投入や国庫負担を増やす等の対策を求めています。

◆国の再編統合ストップを！
市立病院の拡充は市民の願い

昨年9月、厚生労働省は再編・統合の議論が必要とした公立・公的病院(蕨市立病院含む424病院)を公表。地方自治体からは「地域の実情を無視し努力に水を差す」等の批判が相次いでいます。

党市議団は、厚生労働省ヒアリングへの参加や、地域医療構想調整会議の傍聴等、対応。党国会議員団とも力を合わせ、国等に対し、市民の切実な思いとともに、市立病院が中核的医療機関として地域医療を支えていることや、地域連携・経営改善等に努力していること等を伝え、「公表」撤回を求めています。